

村井豪

総合警備保障株式会社
代表取締役グループCEO
一般社団法人全国警備業協会会長

3年前に総合警備保障の代表取締役
に就任した村井豪氏。インタビュー
中、一番表情を和ませたのは社員の
気質に触れた時だった。

「この業界の人間は誰かから頼られる
と、何とかしなくてはと思うんです。
ALSOKの社員もそういうのが大
好き。どんな現場に行く時も『なん
で私が』という声は出ません。そこが
うちの会社のいいところですよ。」

コロナ感染者隔離施設、福島第一原
発でもそうだった。湾岸戦争が起き
た折、外務省から警備要員派遣の要
請があると、2人の募集枠になんと
100人も集まったという。

会社はあらかじめリスクアセスメン
ト（危険性評価）を実施し、それゆえ
に社員は安心して仕事に赴ける。武
士の精神を発揮できる企業風土が
しっかり築かれているのだ。

安全・安心に携わるという使命感の
下に力を尽くす人々。それに見合っ
報酬を得、また良い仕事をする。そっ
した好循環の実現のために、業界の
リーダーとしての村井豪氏への期待
は一層高まる。

撮影◎戸川寛

人と機械を融合した警備サービスで いち早くDX化を実践 本業から派生した事業を通して 時代が求める安全・安心を届ける

日本の刑法犯認知件数はこの20年でピーク時の約4分の1になった。その最大の功労者は警察ではあるが、民間警備会社が果たしている役割も極めて大きい。ALSOKの名で広く親しまれている総合警備保障はその警備会社の先駆け企業である。何かあれば待機所から警備員が契約先に急行する機械と人による警備システムは社会にすっかり定着し、本業の枠を超えてさまざまな分野に安全・安心を届けている。同社代表取締役にしてグループCEOの村井豪氏は「東京2020大会」において、全国553社の警備会社を束ねた業界のリーダーでもある。同社の今後目指すもの、そして業界の課題について話を伺った。

「ありがとうの心」と「武士の精神」が DNAに埋め込まれた企業

伊藤 御社は、創業事業である警備を中核に介
護、建物設備の総合管理など幅広く事業を展開
しておられます。また、「ALSOK」の名称で、
われわれにとっても身近な存在です。村井豪さ
んはその代表取締役とグループCEOを務めら
れ、社業の発展にリーダーシップを発揮されて
います。はじめに、御社の創業の精神、理念に

ついてお話しいただけますでしょうか。

村井 弊社は社会とお客様に安全・安心をご提
供する、そのために全力を尽くすという使命を
持っています。そのありようで言うと、創業者
は社員には「ありがとうの心」と「武士の精
神」を実践してもらいたいという思いを込め
てつくった会社です。「ありがとうの心」とは、
お仕事をさせていただく時には感謝の気持ち
を持っていないと、しっかりした経営ができない
ということなんです。そして「武士の精神」とい
うのは、営利企業ですので、営利を追求すること

は当然としても、それだけにとどまってしまう
と警備をなりわいとする会社としてはやや不足
があるのではないかと。そういう意味で、われわ
れには経済的価値をご提供するだけではなく社
会的価値も合わせてご提供することが必要とさ
れている。そこをしっかりと意識して社業に取り
組むということを抽象的に表現したのだと思
います。そうした創業の思いがDNAに埋め込ま
れている企業です。

伊藤 創業時からのしっかりした理念があり、
それが皆さんに行き届いているから、信頼と実